

【別冊】各市町村の状況 — 江府町

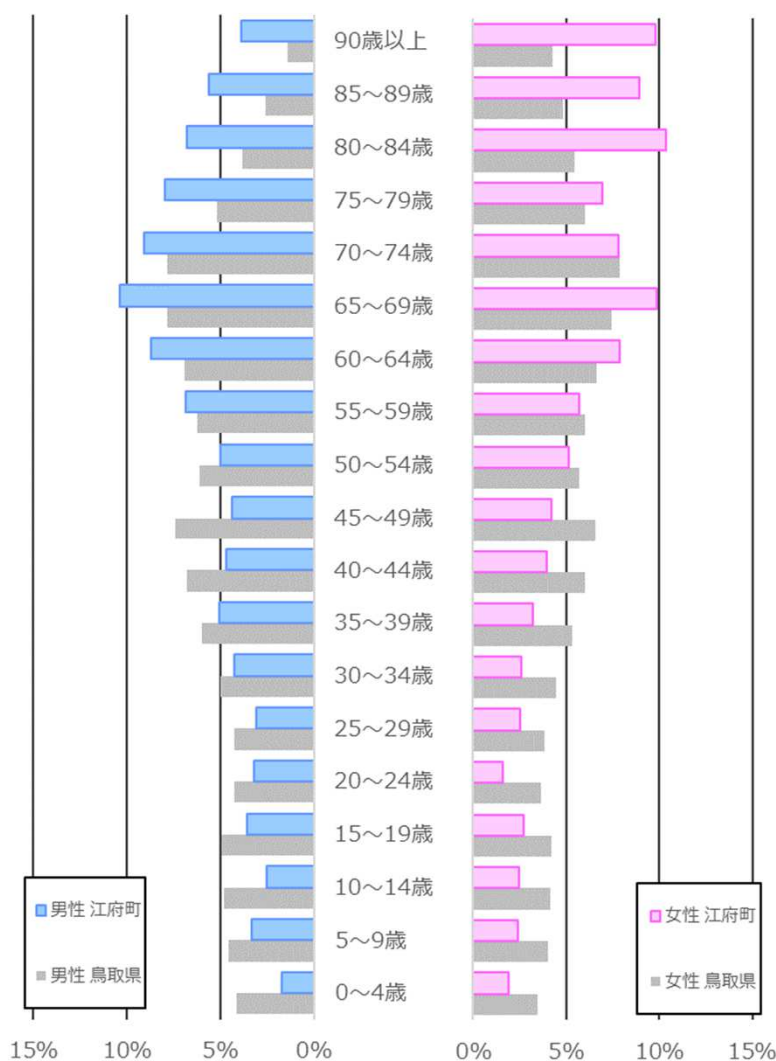
1. 概要

人口総数	2,672人
高齢化率	49.1%

	国保	後期
被保険者数	480人	754人
加入率	18.0%	28.2%
平均年齢	60.9歳	84.4歳

出典: KDB帳票No. 3 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（令和5年度累計）

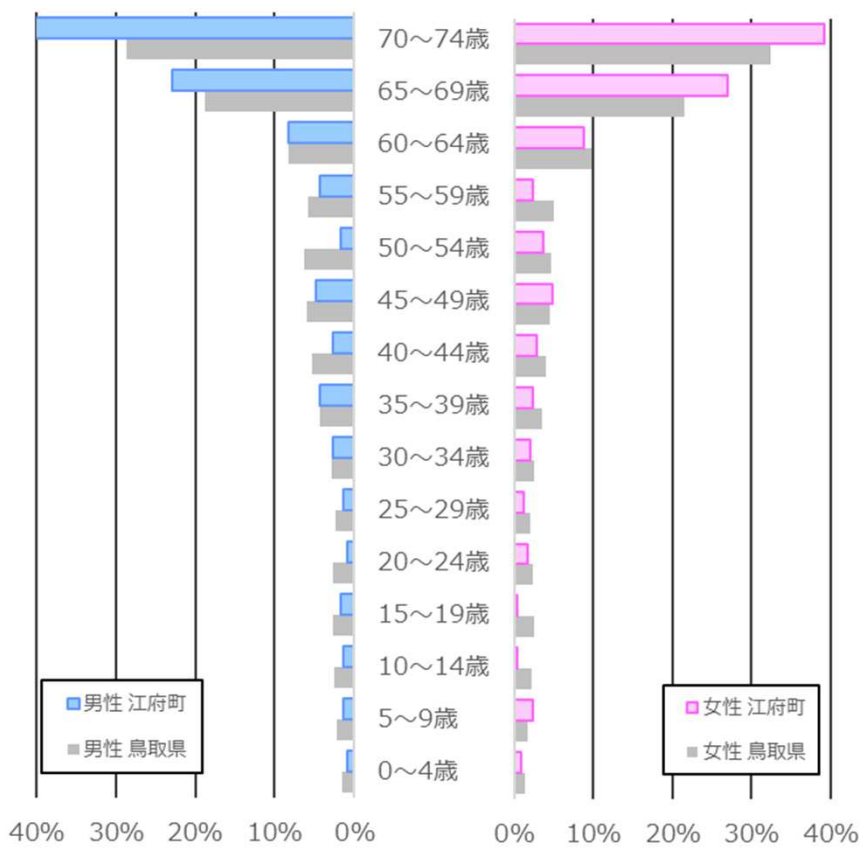
■ 人口ピラミッド（令和2年度）



年齢階層	人口	
	男性	女性
0～4歳	21人	27人
5～9歳	41人	34人
10～14歳	31人	35人
15～19歳	44人	39人
20～24歳	40人	23人
25～29歳	38人	36人
30～34歳	53人	37人
35～39歳	63人	46人
40～44歳	58人	57人
45～49歳	54人	60人
50～54歳	62人	74人
55～59歳	85人	82人
60～64歳	108人	113人
65～69歳	129人	141人
70～74歳	113人	112人
75～79歳	99人	99人
80～84歳	84人	148人
85～89歳	70人	128人
90歳以上	48人	140人
合計	1,241人	1,431人

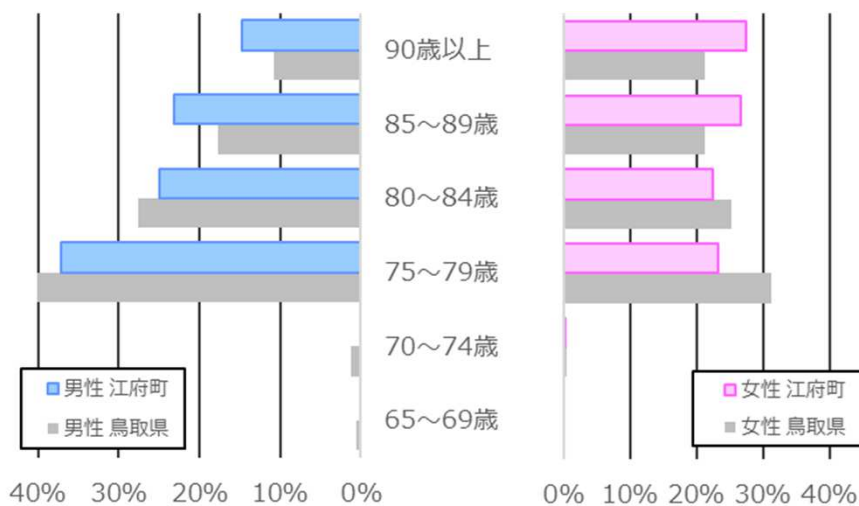
出典: KDB帳票No. 5 人口及び被保険者の状況（令和5年度累計）

国保 国保被保険者数ピラミッド



年齢階層	人口	
	男性	女性
0～4歳	2人	2人
5～9歳	3人	6人
10～14歳	3人	1人
15～19歳	4人	1人
20～24歳	2人	4人
25～29歳	3人	3人
30～34歳	6人	5人
35～39歳	10人	6人
40～44歳	6人	7人
45～49歳	11人	12人
50～54歳	4人	9人
55～59歳	10人	6人
60～64歳	19人	22人
65～69歳	53人	67人
70～74歳	96人	97人
合計	232人	248人

後期 後期被保険者数ピラミッド



年齢階層	人口	
	男性	女性
65～69歳	0人	0人
70～74歳	0人	1人
75～79歳	103人	111人
80～84歳	69人	107人
85～89歳	64人	127人
90歳以上	41人	131人
合計	277人	477人

出典: KDB帳票No. 5 人口及び被保険者の状況 (令和5年度累計)

2. 標準化死亡比 (SMR) 説明②

■ 主要死因別標準化死亡比SMRの推移

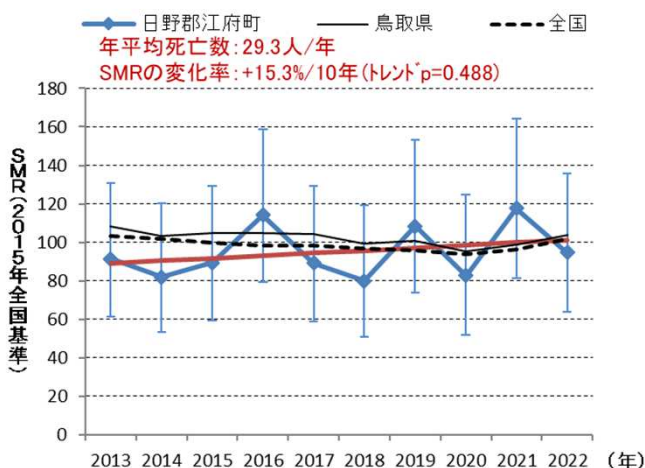
- 2015年の全国を100として、青色 = 毎年の値、赤色 = それを平滑化した値（「10年間の値をプールしてSMRを計算し、経年的な変化の傾きを付けたもの」と比較しています。主に赤色の方に注目して見ます。
- トレンドpは、「変化が偶然である確率」を意味し、 $p < 0.05$ の場合に、偶然変動とはみなせない変化があると判断します。

※全国（2015年）= 100よりも上方で推移していれば全国（2015年）よりも死亡者の割合が高く、下方で推移していれば低いことを意味します。

※全国（黒線）と同じ傾きで推移していれば全国と同じ状況にあり、全国が右肩上がりとなっている中で、全国よりも傾きが急な右肩下がりであれば、全国よりも早いペースで改善していることになります。また、右肩上がりであれば、全国よりも改善のペースが遅いまたは悪化していることを示すことになります。

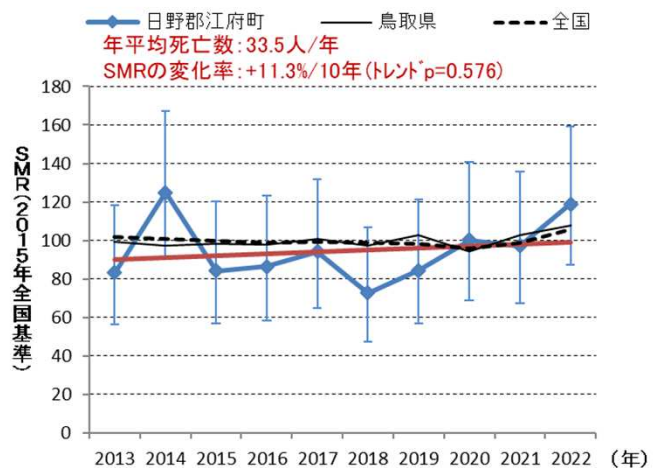
■ 【男性】

【全死因】

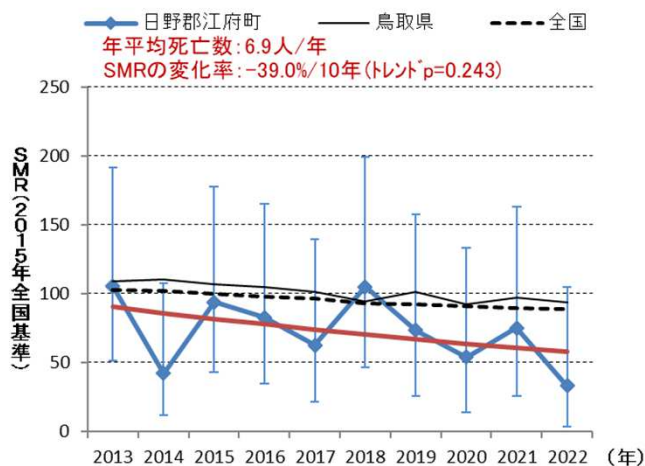


■ 【女性】

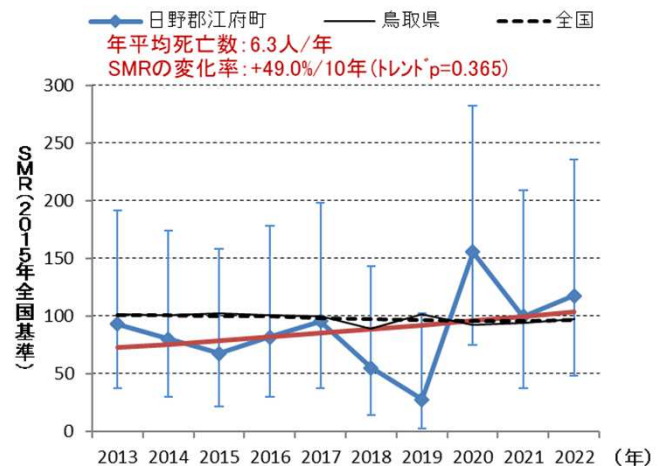
【全死因】



【悪性新生物】

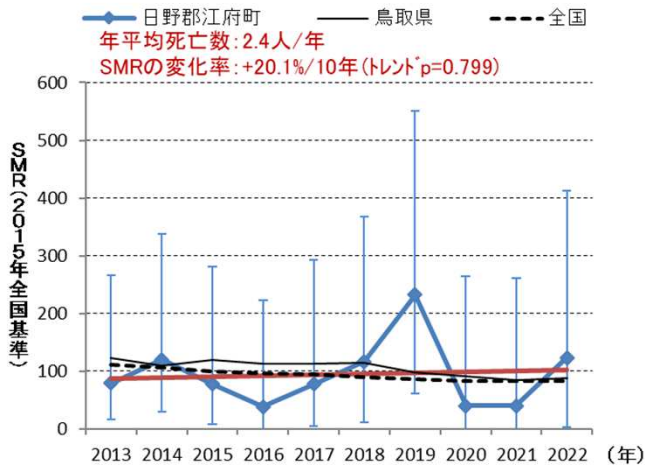


【悪性新生物】



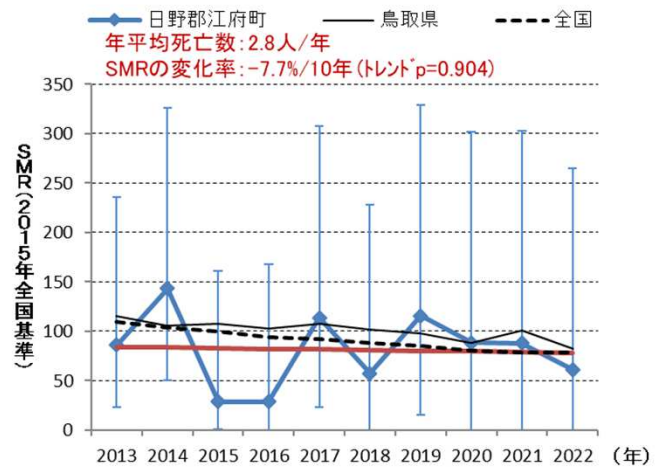
■【男性】

【脳血管疾患】

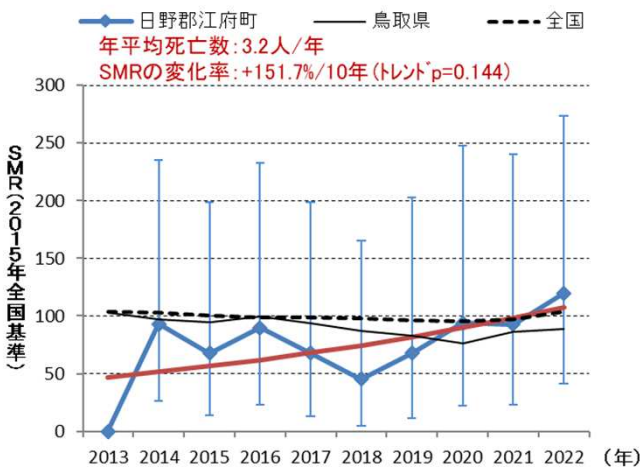


■【女性】

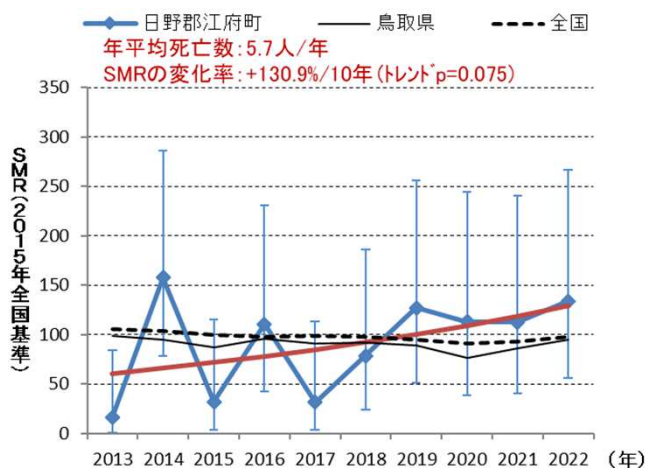
【脳血管疾患】



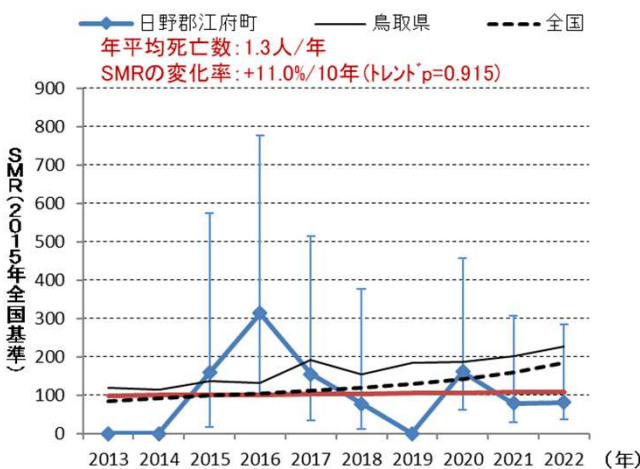
【心疾患(高血圧性を除く)】



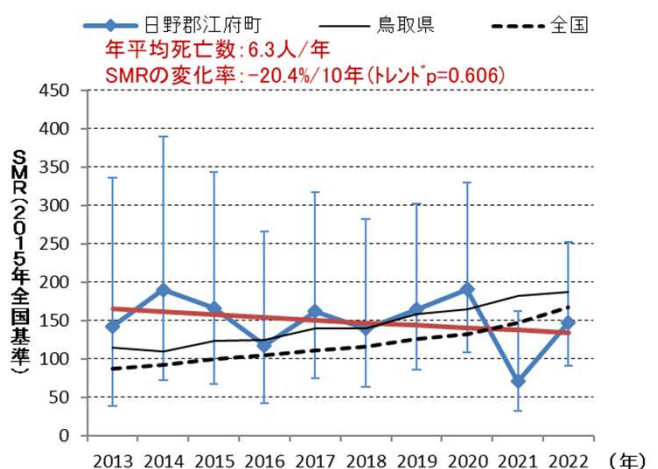
【心疾患(高血圧性を除く)】



【老衰】



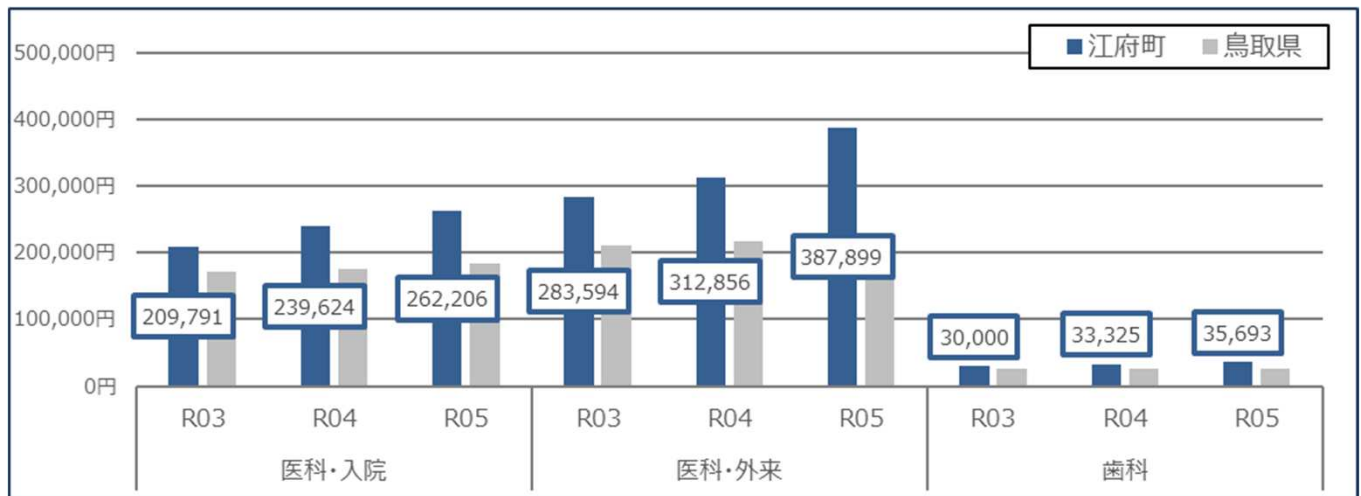
【老衰】



出典: 国立保健医療科学院
地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握のための参考データ・ツール集
「全国市町村別主要死因別標準化死亡比 (SMR) の推移2013~2022」抜粋

3. 医療費の状況

国保 被保険者 1 人当たり年間医療費



※ 医科・外及び歯科は、各レセプトとそれに紐づく調剤レセプトが対象である。
出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ（各年度累計）

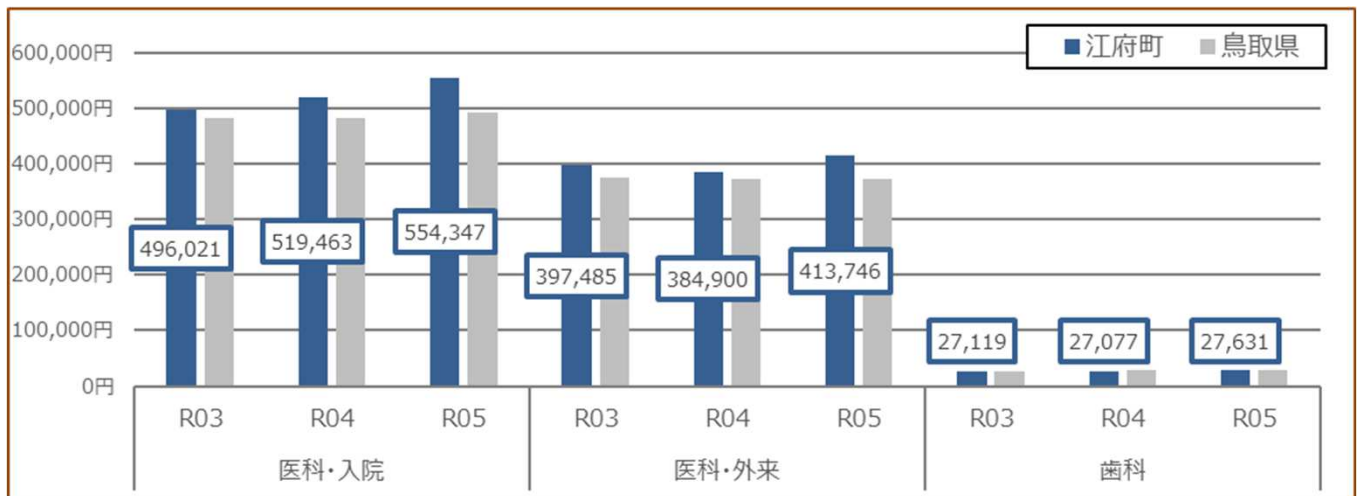
国保 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費（3 年平均）

（単位:円）

番号	疾病大分類	医科・入院				医科・外来 + 調剤			
		男性		女性		男性		女性	
1	感染症及び寄生虫症	2,535	12位	0	17位	8,308	11位	3,476	11位
2	新生物＜腫瘍＞	57,525	1位	43,398	1位	75,775	1位	128,931	1位
3	血液及び造血系の疾患 並びに免疫機構の障害	988	13位	2,469	14位	437	16位	193	16位
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	2,536	11位	3,402	12位	28,736	4位	37,688	4位
5	精神及び行動の障害	8,613	8位	36,127	3位	8,671	10位	11,855	9位
6	神経系の疾患	43,983	3位	5,821	10位	15,828	7位	10,581	10位
7	眼及び付属器の疾患	6,570	9位	4,216	11位	9,756	9位	20,452	5位
8	耳及び乳様突起の疾患	0	16位	1,194	16位	887	15位	1,651	13位
9	循環器系の疾患	50,777	2位	23,650	4位	34,636	2位	18,896	7位
10	呼吸器系の疾患	14,159	6位	11,626	7位	14,997	8位	13,998	8位
11	消化器系の疾患	17,449	5位	9,587	8位	19,400	5位	19,649	6位
12	皮膚及び皮下組織の疾患	177	15位	2,063	15位	3,406	12位	3,390	12位
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	22,655	4位	14,291	5位	17,532	6位	40,327	3位
14	尿路性器系の疾患	14,075	7位	8,137	9位	29,264	3位	51,733	2位
15	妊娠、分娩及び産じょく	0	16位	2,886	13位	0	19位	78	18位
16	周産期に発生した病態	0	16位	0	17位	3	18位	0	19位
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0	16位	0	17位	17	17位	114	17位
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見 で他に分類されないもの	187	14位	40,305	2位	1,230	14位	1,314	15位
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	3,265	10位	12,747	6位	3,360	13位	1,620	14位
合計		245,495	—	221,919	—	272,244	—	365,947	—

※傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。
出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析（大分類）（令和3年度～令和5年度）

後期 被保険者 1 人当たり年間医療費



※ 医科・外及び歯科は、各レセプトとそれに紐づく調剤レセプトが対象である。
出典: KDB帳票No.4 市区町村別データ (各年度累計)

後期 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費 (3 年平均)

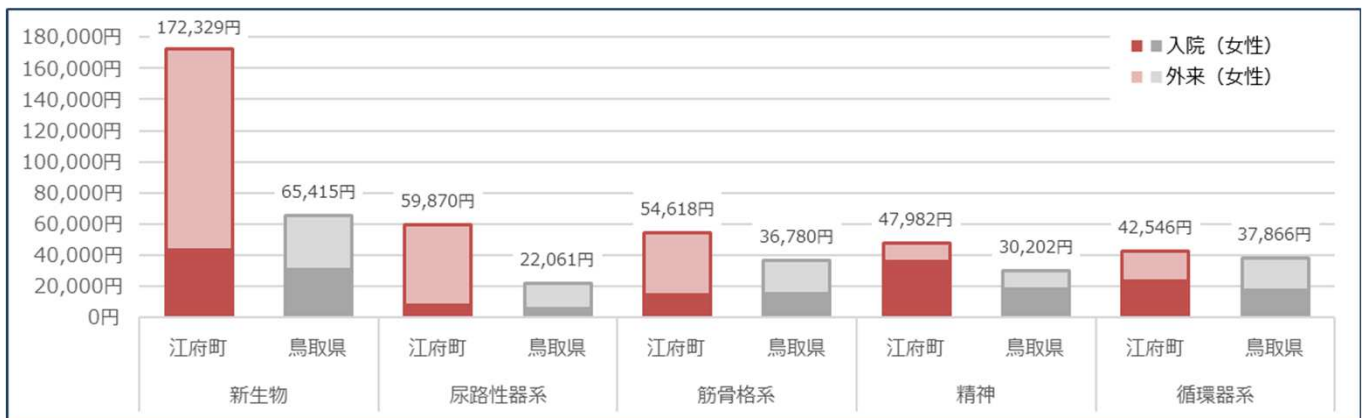
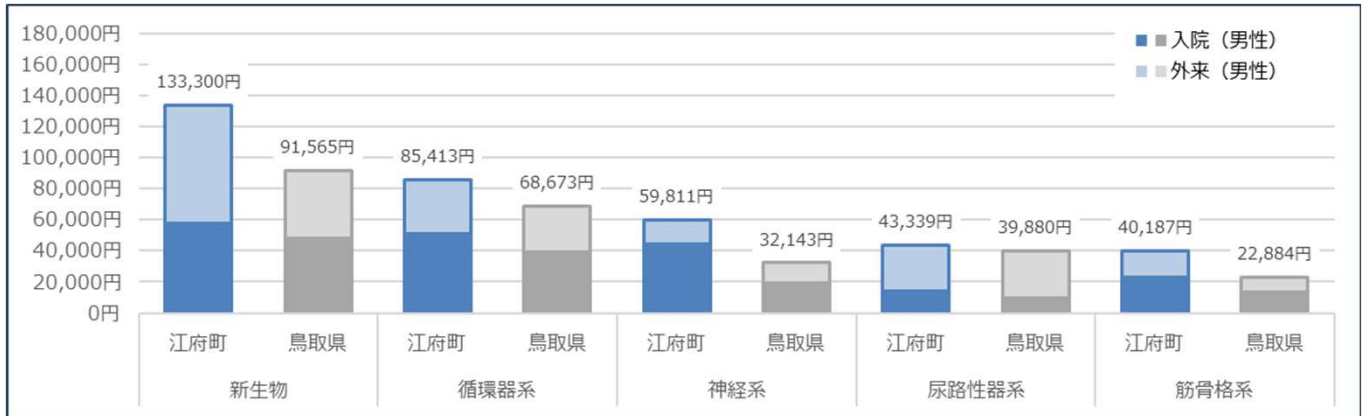
(単位: 円)

番号	疾病大分類	医科・入院		医科・外来 + 調剤	
		男性	女性	男性	女性
1	感染症及び寄生虫症	8,868 10位	6,531 11位	9,553 10位	10,089 10位
2	新生物<腫瘍>	37,934 5位	43,770 5位	67,478 3位	36,912 4位
3	血液及び造血系の疾患 並びに免疫機構の障害	7,548 11位	2,810 14位	8,840 11位	887 15位
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	4,287 14位	3,622 13位	56,615 4位	32,622 5位
5	精神及び行動の障害	5,662 13位	27,058 6位	623 15位	3,325 13位
6	神経系の疾患	35,804 6位	25,562 7位	13,599 9位	21,075 6位
7	眼及び付属器の疾患	7,107 12位	1,945 15位	19,282 7位	18,005 8位
8	耳及び乳様突起の疾患	0 17位	125 17位	502 16位	793 16位
9	循環器系の疾患	149,499 1位	114,437 1位	95,259 2位	84,903 1位
10	呼吸器系の疾患	114,885 2位	55,110 4位	36,440 6位	14,497 9位
11	消化器系の疾患	28,739 8位	21,290 9位	40,317 5位	40,565 3位
12	皮膚及び皮下組織の疾患	273 16位	4,111 12位	4,950 12位	4,390 11位
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	44,003 4位	67,682 2位	18,602 8位	43,110 2位
14	尿路性器系の疾患	50,798 3位	16,369 10位	106,173 1位	18,917 7位
15	妊娠、分娩及び産じょく	0 17位	0 18位	0 18位	0 18位
16	周産期に発生した病態	0 17位	0 18位	0 18位	0 18位
17	先天奇形、変形及び染色体異常	434 15位	188 16位	145 17位	10 17位
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見 で他に分類されないもの	16,758 9位	21,338 8位	3,051 14位	2,702 14位
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	35,147 7位	64,758 3位	4,700 13位	3,762 12位
合計		547,747 -	476,707 -	486,130 -	336,561 -

※ 傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。
出典: KDB帳票No.42 疾病別医療費分析 (大分類) (令和3年度～令和5年度)

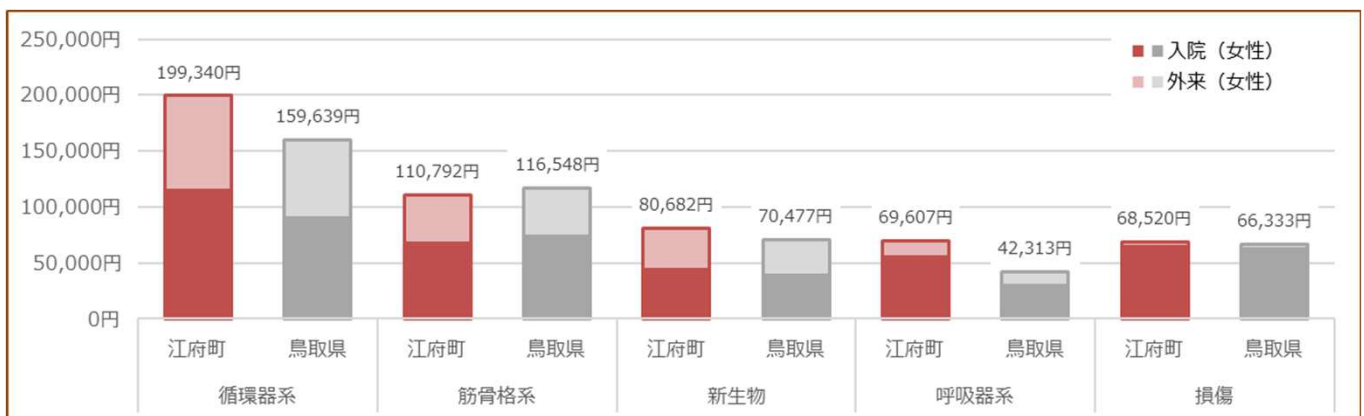
国保

疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費（上位5位）



後期

疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費（上位5位）



※傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。
出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析（大分類）（令和3年度～令和5年度）

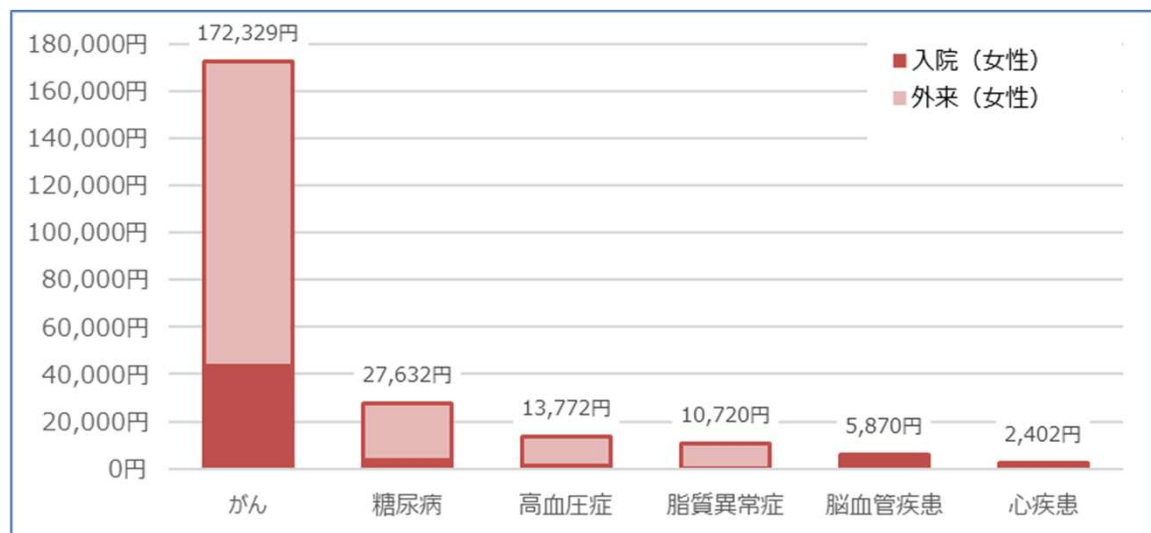
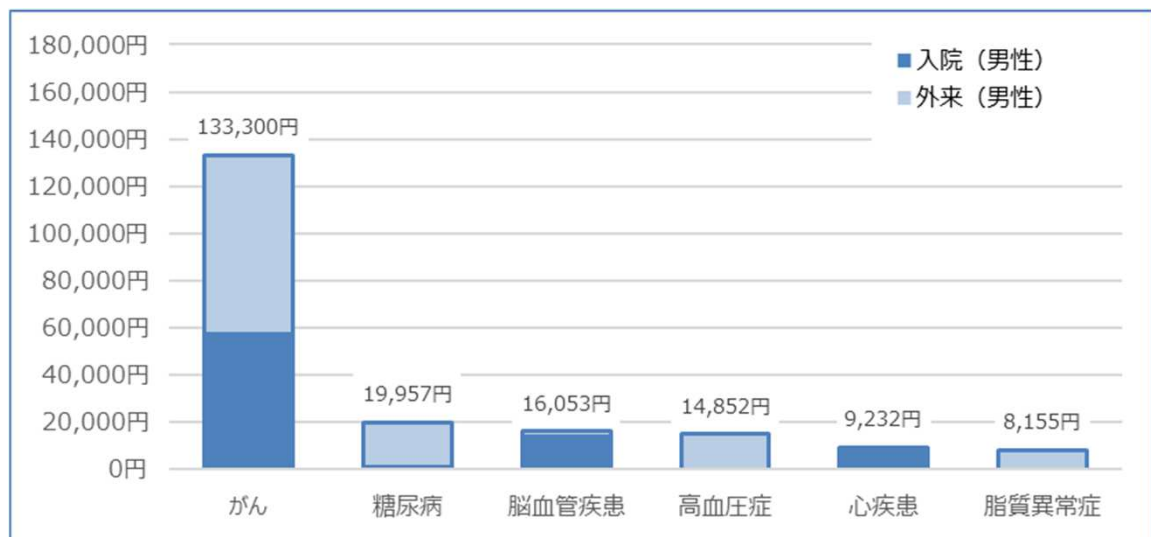
国保

生活習慣病別被保険者 1 人当たり年間医療費（入院、外来 + 調剤）（3年平均）

（単位:円）

生活習慣病	医科・入院				医科・外来 + 調剤			
	男性		女性		男性		女性	
高血圧症	68	5位	1,411	5位	14,784	3位	12,361	3位
糖尿病	1,196	4位	3,402	3位	18,761	2位	24,230	2位
脂質異常症	0	6位	0	6位	8,155	4位	10,720	4位
心疾患	8,774	3位	1,790	4位	458	6位	612	6位
脳血管疾患	13,693	2位	4,577	2位	2,360	5位	1,293	5位
がん	57,525	1位	43,398	1位	75,775	1位	128,931	1位

出典:KDB帳票No.45 疾病別医療費分析（生活習慣病）（令和3年度～令和5年度累計）



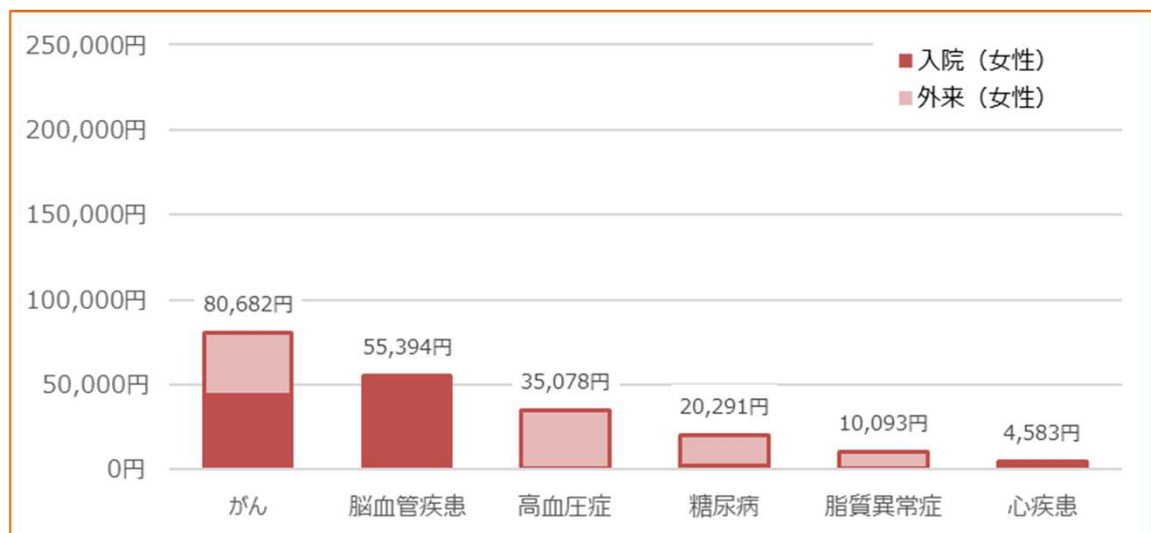
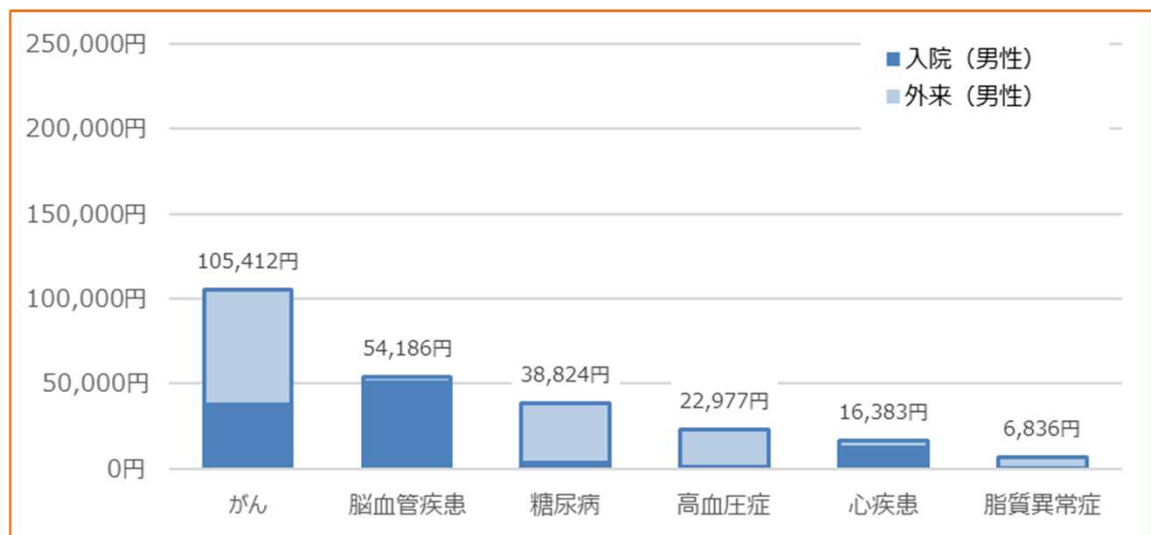
後期

生活習慣病別被保険者 1 人当たり年間医療費（入院、外来 + 調剤）（3年平均）

（単位:円）

生活習慣病	医科・入院				医科・外来 + 調剤			
	男性		女性		男性		女性	
高血圧症	1,020	5位	967	5位	21,957	3位	34,111	2位
糖尿病	3,033	4位	2,413	4位	35,791	2位	17,878	3位
脂質異常症	0	6位	317	6位	6,836	4位	9,776	4位
心疾患	12,648	3位	3,603	3位	3,735	6位	980	6位
脳血管疾患	50,414	1位	52,835	1位	3,772	5位	2,559	5位
がん	37,934	2位	43,770	2位	67,478	1位	36,912	1位

出典:KDB帳票No.45 疾病別医療費分析（生活習慣病）（令和3年度～令和5年度累計）



国保 疾病中分類別被保険者 1 人当たり医療費（上位10位）（3 年平均）

■【男性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	30,630
2	脳梗塞	11,124
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	10,171
4	関節症	9,818
5	腎不全	9,431
6	虚血性心疾患	8,774
7	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	7,739
8	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	6,865
9	脊椎障害（脊椎症を含む）	4,216
10	動脈硬化（症）	4,086

■【男性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	24,497
2	糖尿病	18,761
3	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	18,539
4	高血圧性疾患	14,784
5	脂質異常症	8,155
6	ウイルス性肝炎	6,494
7	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	6,316
8	炎症性多発性関節障害	5,795
9	喘息	5,755
10	てんかん	4,775

■【女性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	40,305
2	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	17,633
3	骨折	10,371
4	悪性リンパ腫	9,814
5	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	9,001
6	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	7,705
7	慢性閉塞性肺疾患	7,644
8	関節症	7,510
9	腎不全	5,423
10	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	4,389

■【女性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	45,961
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	39,880
3	糖尿病	24,230
4	炎症性多発性関節障害	23,643
5	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	17,990
6	高血圧性疾患	12,361
7	脂質異常症	10,720
8	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	9,932
9	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	8,496
10	喘息	7,644

出典:KDB帳票No.43 疾病別医療費分析（中分類）（令和3年度～令和5年度）

後期 疾病中分類別被保険者 1 人当たり医療費（上位10位）（3年平均）

■【男性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	脳梗塞	49,027
2	腎不全	45,304
3	慢性閉塞性肺疾患	32,932
4	骨折	28,947
5	関節症	19,940
6	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	16,758
7	肺炎	16,278
8	虚血性心疾患	13,798
9	アルツハイマー病	13,054
10	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	9,895

■【男性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	90,366
2	糖尿病	35,791
3	高血圧性疾患	21,957
4	慢性閉塞性肺疾患	21,921
5	白血病	10,705
6	喘息	9,778
7	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	8,013
8	脂質異常症	6,836
9	脊椎障害（脊椎症を含む）	6,387
10	関節症	6,301

■【女性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	骨折	51,956
2	脳梗塞	44,114
3	関節症	26,178
4	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	21,338
5	血管性及び詳細不明の認知症	16,662
6	脊椎障害（脊椎症を含む）	14,206
7	パーキンソン病	13,389
8	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	11,199
9	肺炎	9,520
10	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	9,354

■【女性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	高血圧性疾患	34,111
2	糖尿病	17,878
3	骨の密度及び構造の障害	15,613
4	関節症	10,459
5	脂質異常症	9,776
6	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	8,260
7	炎症性多発性関節障害	8,254
8	ウイルス性肝炎	7,314
9	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	6,754
10	喘息	5,897

出典:KDB帳票No.43 疾病別医療費分析（中分類）（令和3年度～令和5年度）

国保 被保険者 1 人当たり年間医療費及び被保険者千人当たりレセプト件数（3 年平均）

■【男性】入院（医科）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	30,630	48.3
2	脳梗塞	10,219	13.4
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	10,171	12.1
4	関節症	9,696	6.7
5	虚血性心疾患	8,548	4.0
6	腎不全	8,536	9.4
7	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	7,311	8.1
8	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	6,865	6.7
9	脊椎障害（脊椎症を含む）	4,216	2.7
10	動脈硬化（症）	4,086	2.7

■【女性】入院（医科）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	17,248	38.5
2	悪性リンパ腫	9,814	2.7
3	骨折	9,691	11.9
4	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	9,001	11.9
5	慢性閉塞性肺疾患	7,644	6.6
6	関節症	7,335	5.3
7	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	5,776	11.9
8	腎不全	4,470	6.6
9	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	4,389	4.0
10	胆石症及び胆のう炎	3,359	6.6

■【男性】外来（医科+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	20,588	56.4
2	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	13,841	18.8
3	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	5,319	13.4
4	喘息	2,071	5.4
5	炎症性多発性関節障害	421	1.3
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—

■【女性】外来（医科+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	43,966	106.1
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	39,557	47.7
3	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	16,324	9.3
4	炎症性多発性関節障害	12,904	31.8
5	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	3,341	9.3
6	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	2,199	5.3
7	悪性リンパ腫	1,329	1.3
8	屈折及び調節の障害	1,309	4.0
9	白内障	463	1.3
10	糖尿病	438	1.3

※30万円以上のレセプトを集計対象とする。

出典:KDB帳票No.10 基準額以上となったレセプト一覧（令和3年度～令和5年度）

後期

被保険者1人当たり年間医療費及び被保険者千人当たりレセプト件数（3年平均）

■【男性】入院（医科）

（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	脳梗塞	47,836	68.1
2	腎不全	42,928	41.8
3	慢性閉塞性肺疾患	30,209	43.0
4	骨折	27,015	29.9
5	関節症	19,026	19.1
6	肺炎	14,975	28.7
7	虚血性心疾患	12,353	11.9
8	アルツハイマー病	12,013	23.9
9	胆石症及び胆のう炎	9,431	11.9
10	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	9,381	10.8

■【女性】入院（医科）

（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	骨折	49,665	56.9
2	脳梗塞	42,684	68.5
3	関節症	24,463	28.8
4	血管性及び詳細不明の認知症	16,341	32.9
5	脊椎障害（脊椎症を含む）	13,197	17.8
6	パーキンソン病	12,801	18.5
7	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	11,077	10.3
8	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	9,077	11.0
9	脳内出血	8,429	9.6
10	肺炎	8,354	11.7

■【男性】外来（医科+調剤）

（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	59,198	144.6
2	白血病	10,705	14.3
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	6,375	9.6
4	屈折及び調節の障害	759	2.4
5	慢性閉塞性肺疾患	426	1.2
6	白内障	421	1.2
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—

■【女性】外来（医科+調剤）

（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	5,791	11.0
2	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	5,185	12.3
3	ウイルス性肝炎	3,607	2.1
4	甲状腺障害	2,432	5.5
5	白内障	953	2.7
6	パーキンソン病	920	2.7
7	屈折及び調節の障害	722	2.1
8	腎不全	244	0.7
9	—	—	—
10	—	—	—

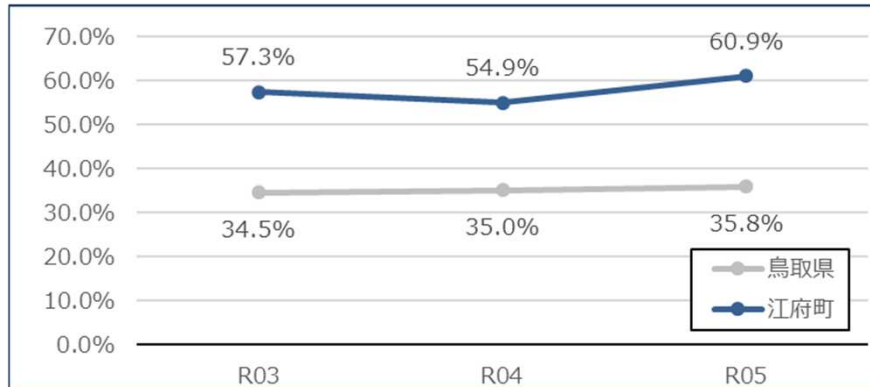
※30万円以上のレセプトを集計対象とする。

出典:KDB帳票No.10 基準額以上となったレセプト一覧（令和3年度～令和5年度）

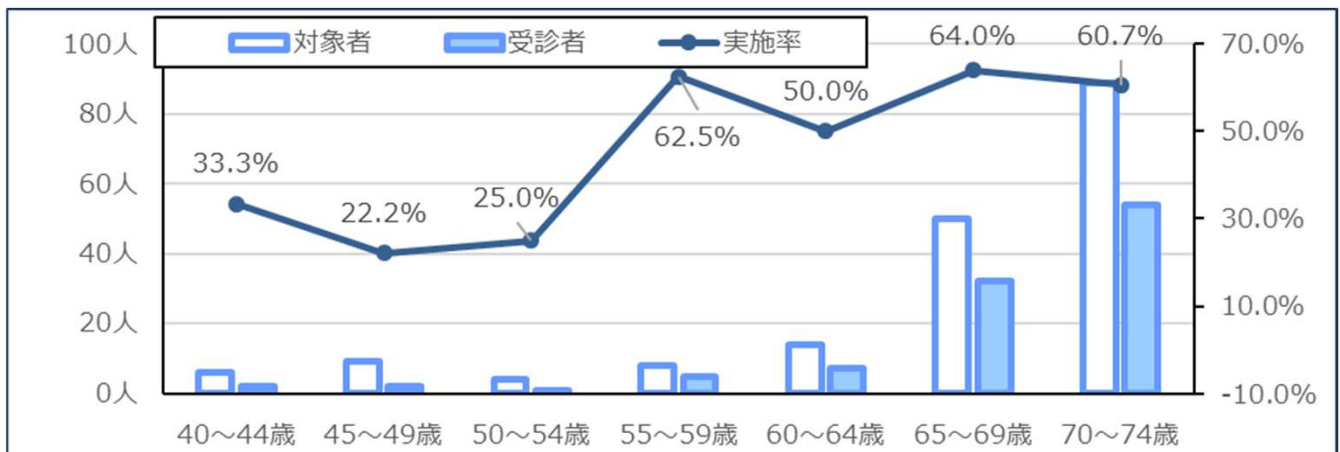
4. 健康診査の状況

国保 特定健康診査実施率

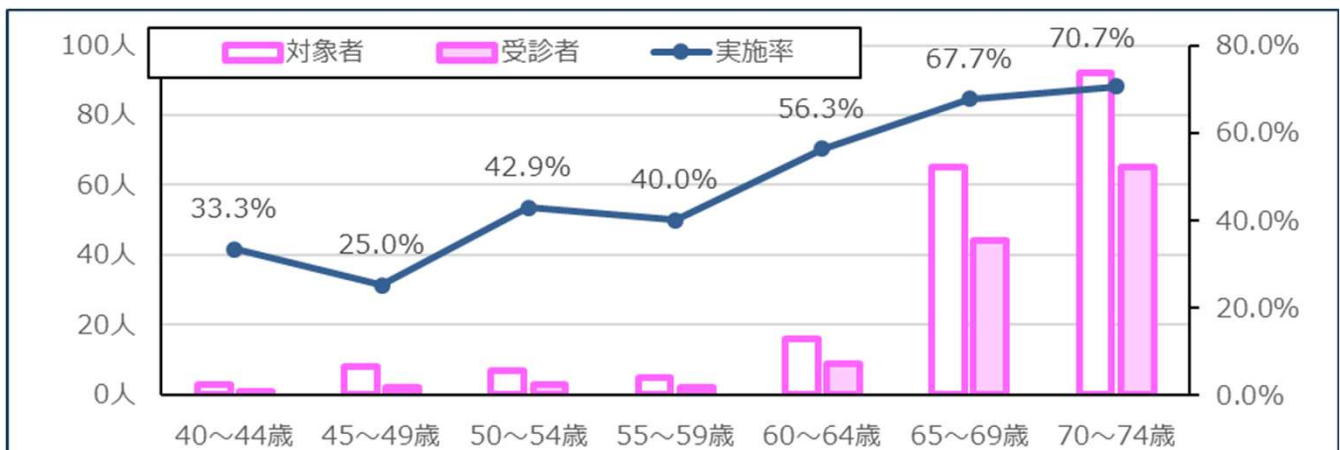
年度	対象者数	受診者数	実施率	(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
R03	417人	239人	57.3%	34.5%	36.4%
R04	401人	220人	54.9%	35.0%	37.5%
R05	376人	229人	60.9%	35.8%	—



国保 【男性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況（令和5年度）



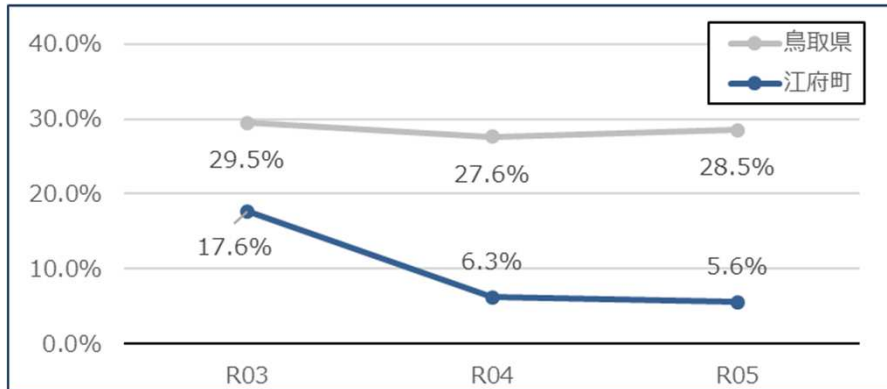
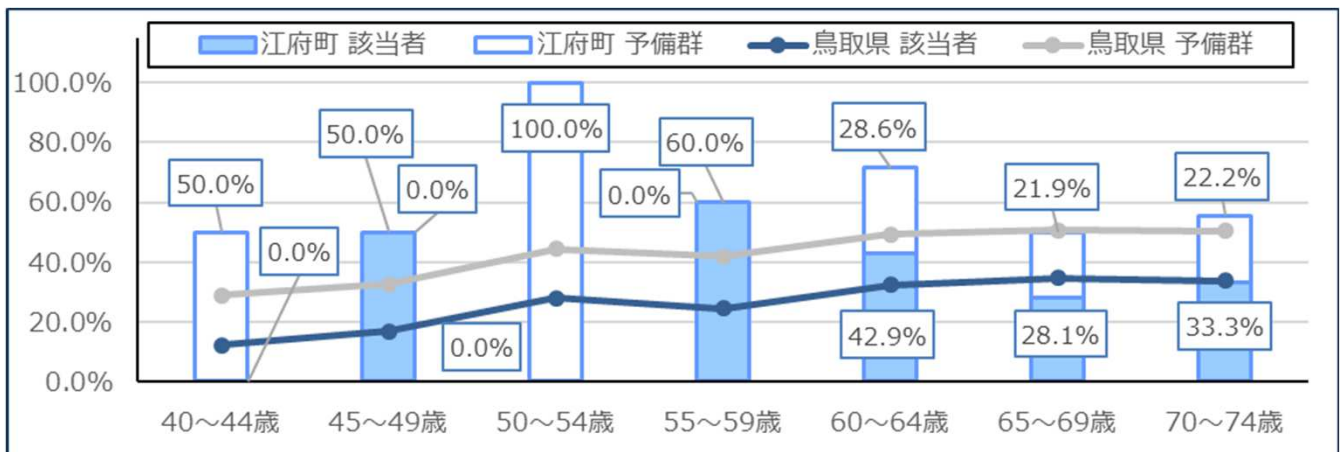
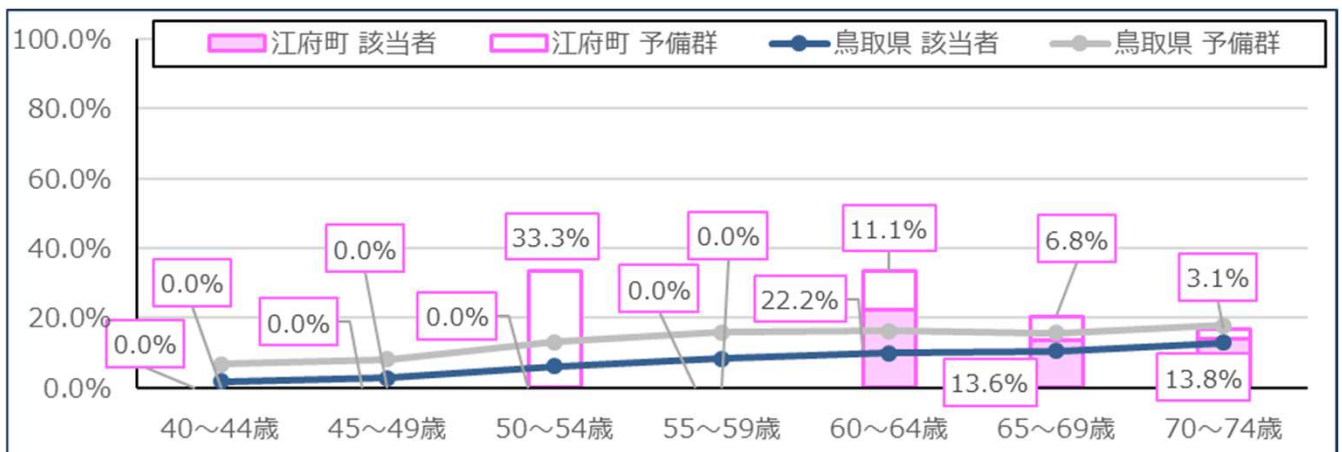
国保 【女性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況（令和5年度）



出典：特定健診データ管理システム法定報告資料（各年度）
 国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

国保 特定保健指導実施率

年度	対象者数	受診者数		(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
		受診者数	実施率		
R03	17人	3人	17.6%	29.5%	27.9%
R04	16人	1人	6.3%	27.6%	28.8%
R05	18人	1人	5.6%	28.5%	—


国保 【男性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合 (令和5年度)

国保 【女性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合 (令和5年度)


出典: 特定健診データ管理システム法定報告資料 (各年度)
 国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

国保

特定健診の質問票回答状況

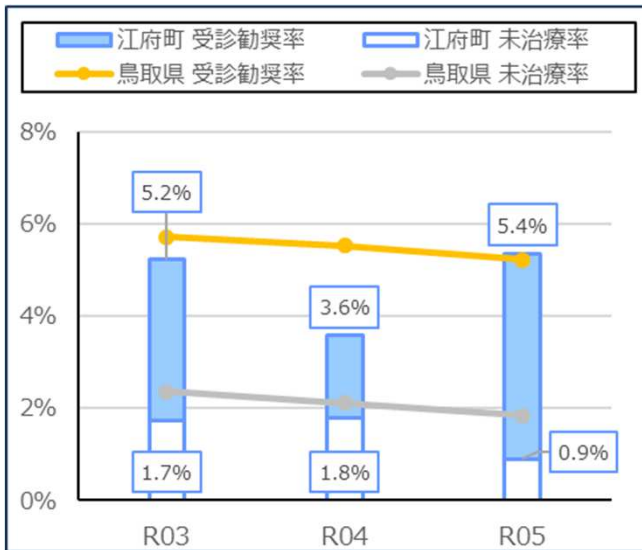
特定健診の質問票		男性		女性	
		江府町	標準化比	江府町	標準化比
服薬	高血圧症	48.1%	101.8	36.5%	104.5
	糖尿病	5.8%	*42.2	10.3%	151.6
	脂質異常症	35.6%	129.1	48.4%	*136.7
既往歴	脳卒中	5.2%	103.6	2.5%	106.5
	心臓病	8.2%	90.2	4.2%	104.5
	慢性腎臓病・腎不全	3.1%	246.5	0.8%	122.1
	貧血	7.2%	145.9	23.3%	*164.1
喫煙	喫煙	19.2%	93.2	3.2%	65.0
体重変化	20歳時体重から10kg以上増加	40.2%	91.3	19.2%	73.3
運動	1回30分以上の運動習慣なし	61.9%	111.9	74.2%	*124.9
	1日1時間以上運動なし	51.5%	106.1	46.7%	100.7
	歩行速度遅い	54.6%	108.9	60.0%	119.7
食習慣	食べる速度が速い	23.7%	82.7	28.3%	123.2
	食べる速度が普通	60.8%	96.2	63.3%	91.3
	食べる速度が遅い	15.5%	*191.1	8.3%	108.9
	週3回以上就寝前夕食	19.6%	104.7	10.0%	104.9
	週3回以上朝食を抜く	9.3%	91.5	7.5%	125.2
飲酒	毎日飲酒	36.1%	85.0	10.0%	89.1
	時々飲酒	20.6%	89.1	24.2%	112.3
	飲まない	43.3%	125.7	65.8%	97.9
	1日飲酒量（1合未満）	61.9%	*131.8	91.5%	108.2
	1日飲酒量（1～2合）	28.9%	84.2	7.7%	61.3
	1日飲酒量（2～3合）	7.2%	47.9	0.9%	35.4
	1日飲酒量（3合以上）	2.1%	55.1	0.0%	0.0
睡眠	睡眠不足	25.8%	112.7	32.5%	121.3
行動変容	改善意欲なし	38.1%	116.4	23.3%	92.8
	改善意欲あり	24.7%	97.3	31.7%	111.1
	改善意欲ありかつ始めている	6.2%	52.9	16.7%	114.3
	取り組み済み6ヶ月未満	12.4%	160.2	7.5%	79.2
	取り組み済み6ヶ月以上	18.6%	82.9	20.8%	93.4
保健指導	保健指導利用しない	63.9%	96.8	65.5%	105.7
口腔機能	咀嚼_何でも	86.6%	114.1	85.0%	106.6
	咀嚼_かみにくい	12.4%	*54.2	15.0%	75.8
	咀嚼_ほとんどかめない	1.0%	83.4	0.0%	0.0
食習慣	3食以外間食_毎日	12.4%	89.7	33.3%	122.5
	3食以外間食_時々	62.9%	110.5	54.2%	91.8
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	24.7%	84.4	12.5%	90.7

※全国と比較をした時の年齢調整後の標準化比（間接法）を表示している。
 ※「*」は、全国に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。

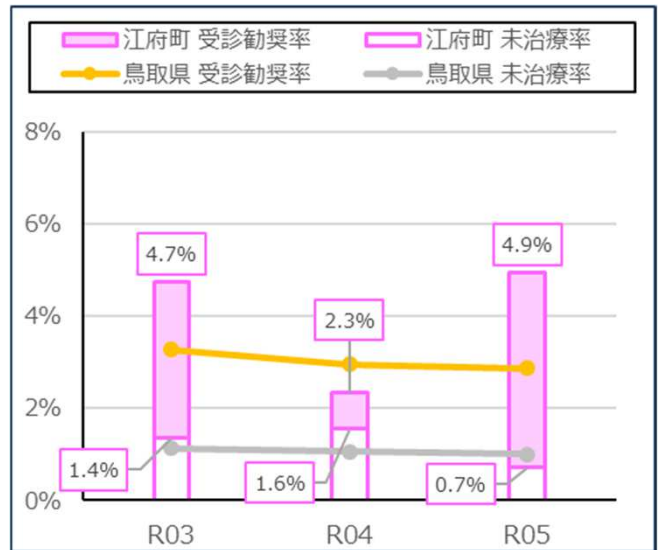
出典：KDB帳票No.6 質問票調査の状況（令和5年度）

国保 特定健診異常値受診勧奨者および未治療者の割合

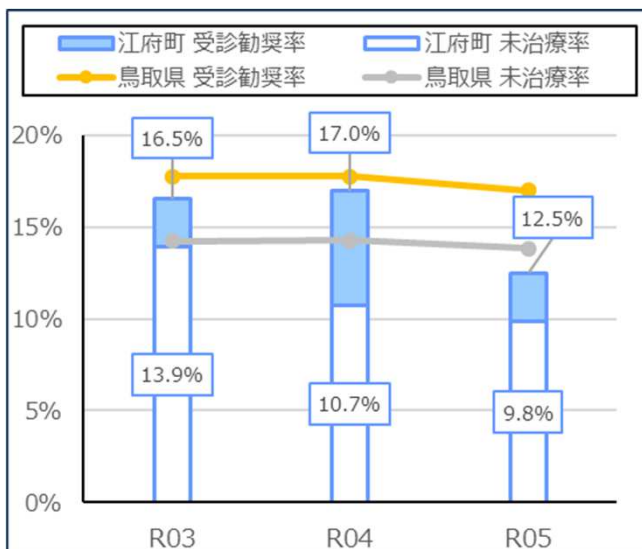
■【男性】（血糖）



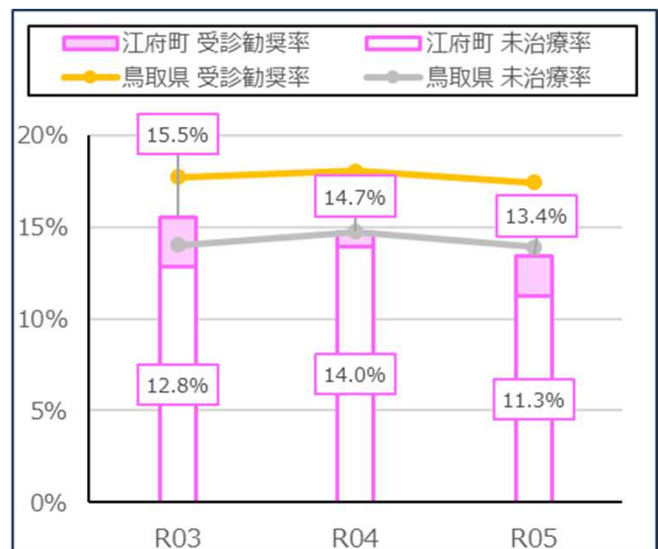
■【女性】（血糖）



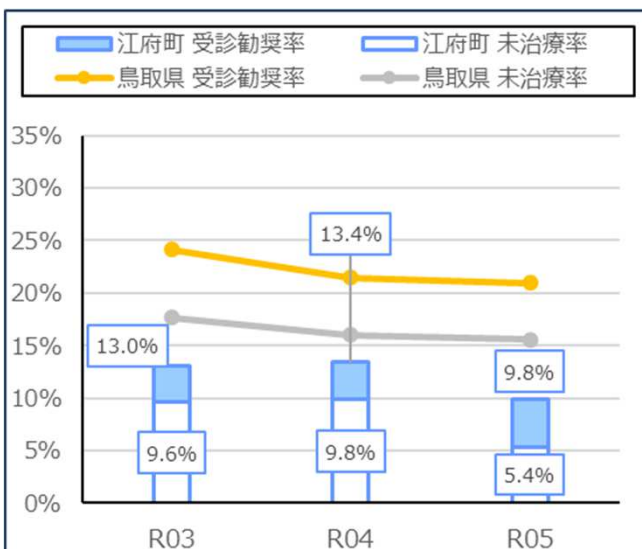
■【男性】（血圧）



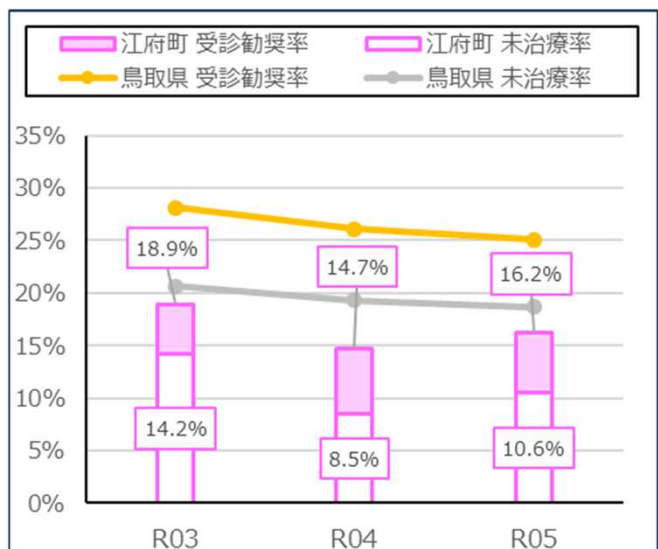
■【女性】（血圧）



■【男性】（脂質）



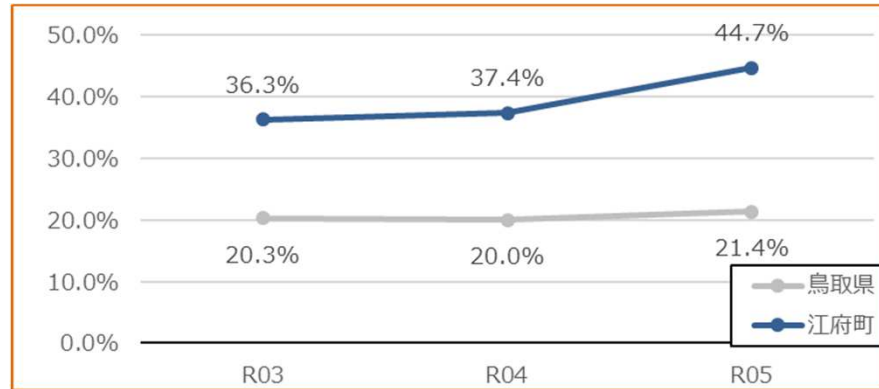
■【女性】（脂質）



※異常値受診勧奨者・未治療者：健診結果が受診勧奨判定であり、質問票から服薬がない者、また、そのうち未治療の者
出典:KDB帳票No.76 介入支援対象者一覧表（栄養・重症化予防等）（各年度）

後期 後期高齢者医療健康診査実施率

年度	対象者数	受診者数	実施率	(参考) 県実施率
R03	775人	281人	36.3%	20.3%
R04	762人	285人	37.4%	20.0%
R05	750人	335人	44.7%	21.4%



出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ (各年度累計)

後期 後期高齢者の質問票回答状況

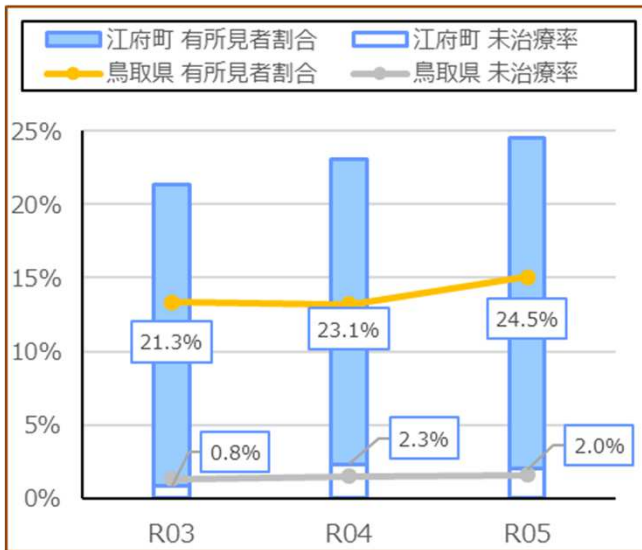
後期高齢者の質問票		男性		女性	
		江府町	標準化比	江府町	標準化比
健康状態	よい	20.3%	80.1	18.3%	88.2
	まあよい	21.0%	111.3	20.3%	119.8
	ふつう	44.2%	96.4	55.8%	109.2
	あまりよくない	13.0%	149.8	5.6%	55.8
	よくない	1.4%	120.0	0.0%	0.0
心の健康状態	満足	39.9%	81.4	37.6%	83.1
	やや満足	53.6%	*126.6	55.8%	*122.3
	やや不満	5.1%	67.3	5.6%	69.9
	不満	1.4%	128.7	1.0%	85.4
食習慣	1日3食きちんと食べる	98.6%	104.4	97.5%	103.0
口腔機能	半年前に比べて固いものが食べにくい	26.1%	99.8	32.0%	103.7
	お茶や汁物等でむせる	23.2%	116.7	17.8%	77.9
体重変化	6ヵ月で2～3kg以上の体重減少	18.8%	*151.9	15.7%	131.1
運動転倒	以前に比べて歩く速度が遅い	62.3%	106.1	66.5%	105.6
	この1年間に転んだ	27.5%	*161.2	22.3%	105.4
	ウォーキング等の運動を週に1回以上	42.0%	*64.4	44.7%	*76.4
認知機能	同じことを聞くなどの物忘れあり	15.2%	96.6	21.8%	115.2
	今日の日付がわからない時あり	23.2%	95.1	26.4%	92.9
喫煙	吸っている	5.8%	70.4	0.0%	0.0
	吸っていない	57.2%	106.8	98.5%	104.1
	やめた	37.0%	96.9	1.5%	43.1
社会参加	週に1回以上は外出	91.3%	99.9	85.8%	96.3
	家族や友人と付き合いがある	93.5%	100.6	95.9%	100.5
ソーシャルサポート	身近に相談できる人がいる	94.9%	101.0	94.9%	98.9

※全国と比較をした時の年齢調整後の標準化比（間接法）を表示している。
 ※「*」は、全国に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。

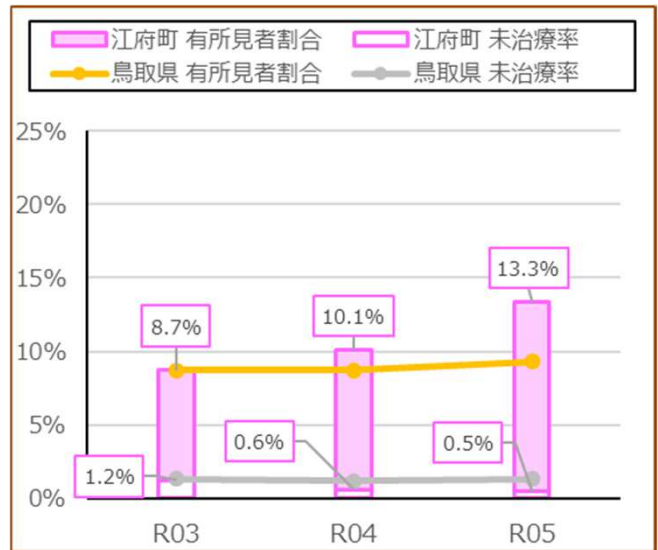
出典:KDB帳票No.6 質問票調査の状況 (令和5年度)

後期 健診有所見者および未治療者の割合

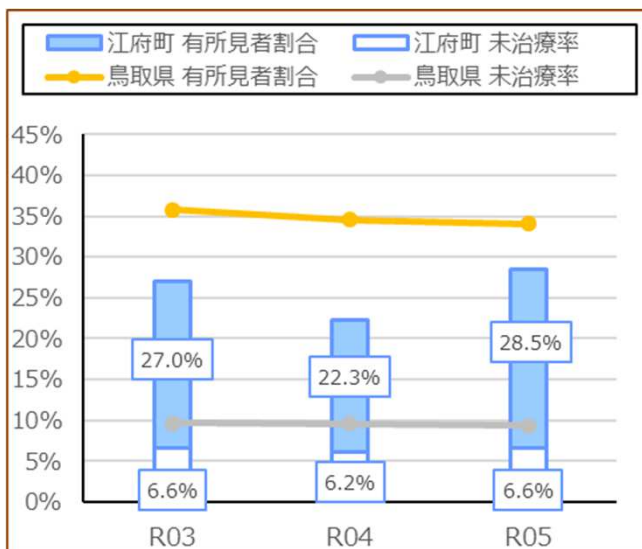
■【男性】（血糖）



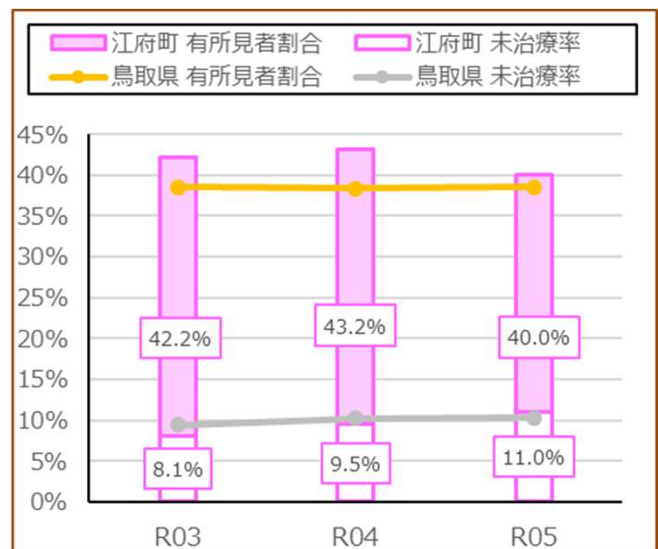
■【女性】（血糖）



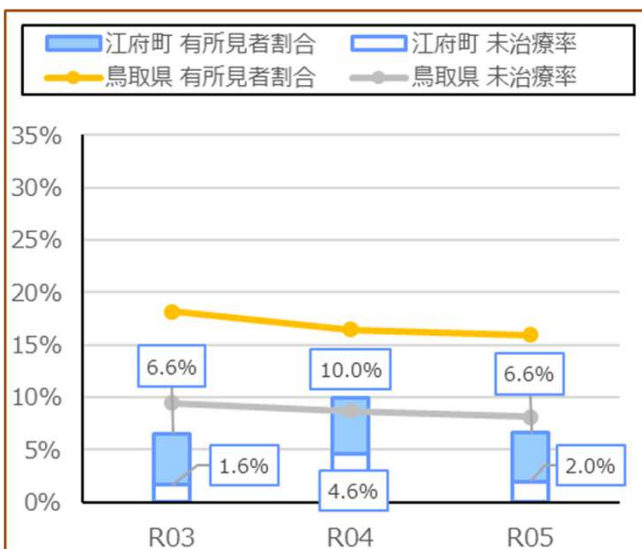
■【男性】（血圧）



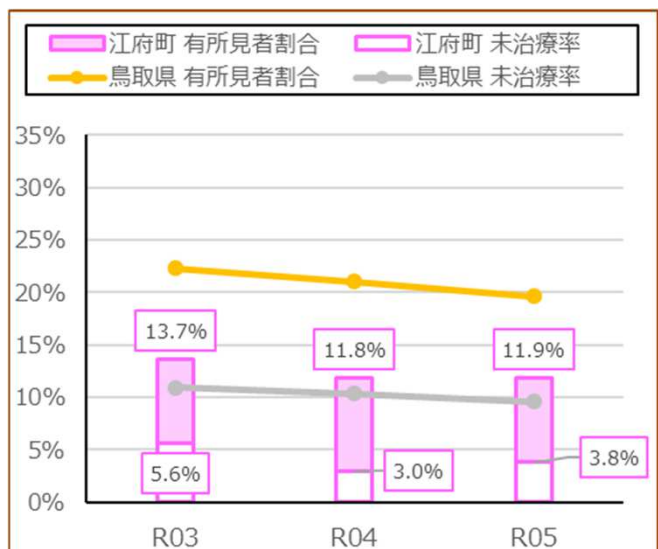
■【女性】（血圧）



■【男性】（脂質）



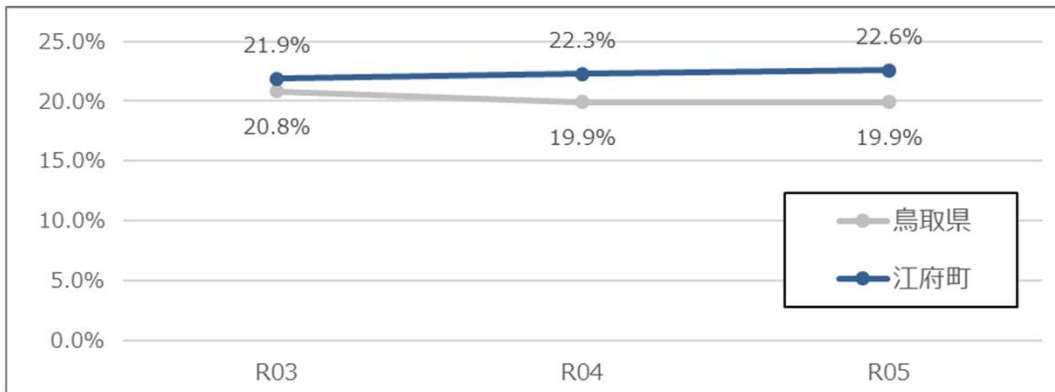
■【女性】（脂質）



※有所見者・未治療者：健診結果が受診勧奨判定である者、また、そのうち未治療の者
出典：KDB帳票No.76 介入支援対象者一覧表（栄養・重症化予防等）（各年度）

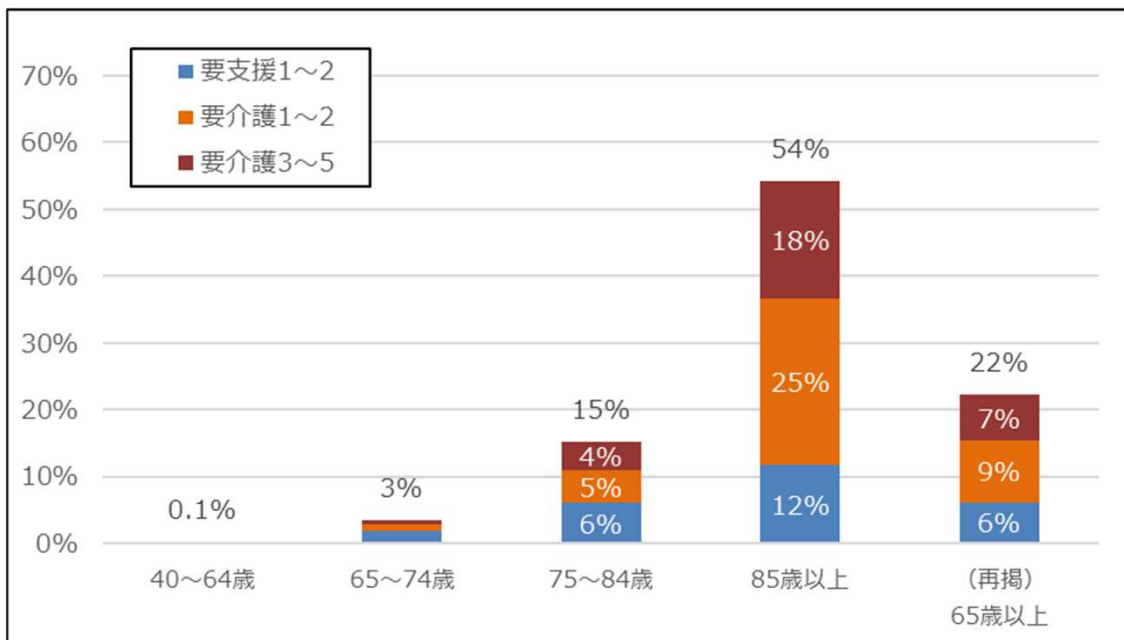
5. 介護の状況

■ 要介護認定率（年次推移）



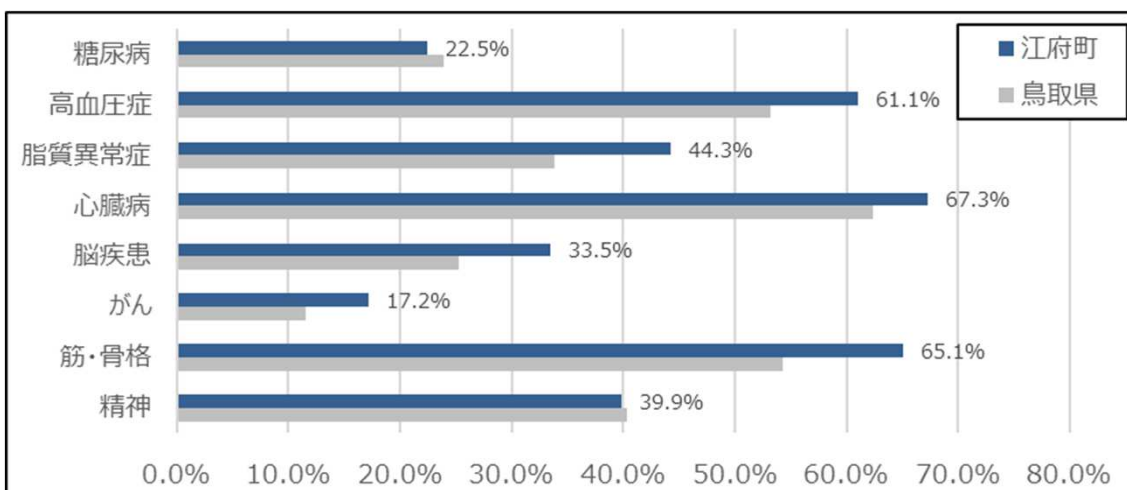
出典:KDB帳票No. 1 地域の全体像の把握 (各年度累計)

■ 年齢階層別要介護認定率



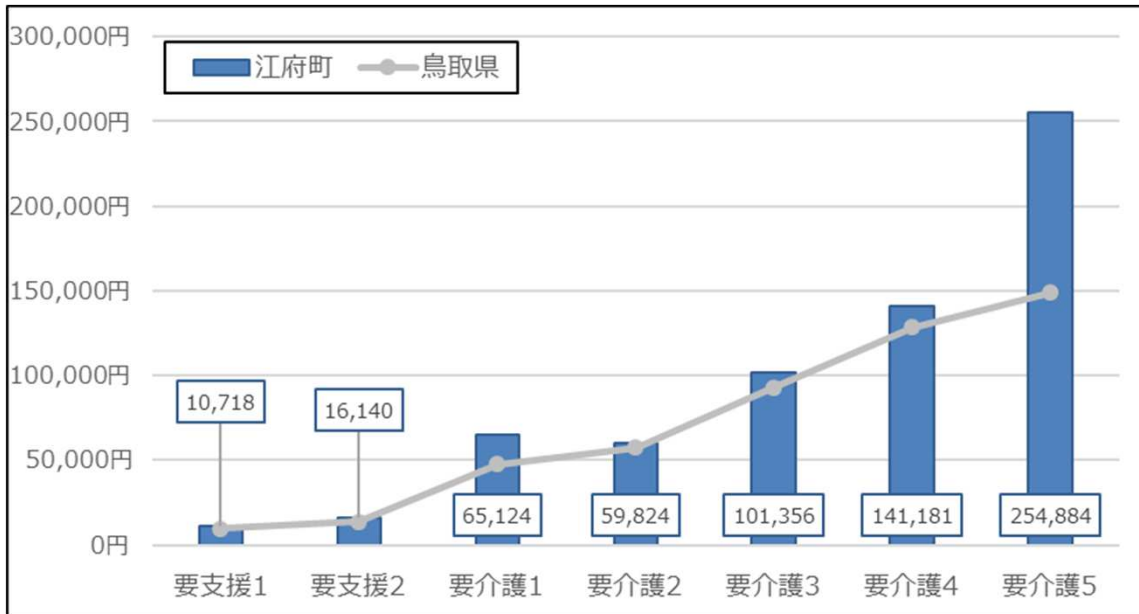
出典:KDB帳票No.47 要介護（支援）者認定状況(令和5年度)

■ 要支援・要介護認定者の有病状況



出典:KDB帳票No. 1 地域の全体像の把握 各年度(令和5年度)

■ 要介護度別 1 件当たり介護給付費



出典:KDB帳票No. 1 地域の全体像の把握 各年度(令和5年度)

6. まとめ

医療費の状況	・国保・後期ともに、入院・外来医療費が経年的に県平均より高く、増加傾向にある。(町P.5-6) ・国保において、男女ともに新生物・循環器系・尿路性器系・筋骨格の医療費が県平均より高い。特に、女性の新生物の外来医療費が高い(町P.7) ・後期において、男女ともに循環器系の医療費が最も高く、県平均より高い。(町P.7)
特定健康診査・特定保健指導の状況	・特定健診の質問票において、“脂質異常症 服薬あり”、“運動習慣なし”、“睡眠不足”の標準化比が男女とも高い。また、特に女性の“3食以外間食毎日”の標準化比が高い。(町P.16) ・特定健診の実施率は県内で最も高く、後期高齢者健診の実施率は県内で2番目に高い。(県p.47、52) ・保健指導実施率は、経年的に県平均より低く、令和5年度は県内で最も低い。(町P.15、県P.51) ・後期質問票において、“体重減少”、“この1年間に転んだ”の標準化比が男女とも高い。(町P.18)
介護の状況	・要介護認定率が県内で3番目に高い。(県P.63) ・要支援・要介護認定者の有病状況は、脳疾患・がん・筋骨格が県内で最も高く、高血圧症は県内で2番目に高い。(県P.64-65) ・要介護度別1件当たり介護給付費は、要介護1以上から県平均より高い。(町P.21) ・新規要介護認定者の関節リウマチ・各種関節炎の有病率が県内で最も高く、脊椎・椎間板・脊髄障害、変形性関節症の有病率も県内で上位に入る。(県P.67-68)
健康スコアリングから見える課題、助言等	・国保において、肥満リスクが県内で最も高く、脂質リスクは2番目に高い。後期においては、肥満・血糖リスクが県内で上位に入る。(県P.72-74) ・後期は、体重減少リスクが県内で最も高く、運動転倒・社会参加リスクも県内で3番目に高い。(県P.79-80) ・循環器系疾患・筋骨格系の医療費と介護認定者の有病率が高いため、食事習慣の改善による栄養管理や筋力低下を防止する運動習慣の定着化に重点を置いた生活習慣病対策・フレイル予防対策の推進が必要であると考えられる。